

課題整理（技術面、市場環境面など）と今後の展望

■ 市場環境面の課題整理

- 日々、提携先の薬局より改善アイデアを頂く中で、紹介先医療機関が幅広い診療科を持っている事が来院に繋がり易いという声から、実証期間中に診療科の選択肢を広げる取り組みを行った。このことから次年度以降の医療機関へのシステム導入の際、本システムにより紹介可能な診療科目がカバーされている事はもちろん、現地疾患ニーズに合わせた診療科目をカバーできるようにバランスを考え医療機関側利用者の拡大に留意することとした。

■ 技術面の課題整理

- 今後は幅広い診療科へ精度の高い紹介を行えるよう、現状の入力時間（平均90秒）を保ちつつ症状入力項目を増やし活用できるデータを蓄積する必要がある。
- 農村部では想定よりも通信環境が悪く通信回数を減らすなど動作を軽くしシステムの利用性、安定性を向上させる必要がある。
- また、引き続き利用者への改善案の聞き取りを継続し、満足度向上とともに月額料金単価を上げるための追加機能の検討を具体的に進めていく。